

# 第三次中・長期計画書

シルバー人材センター事業は  
生涯現役を叶えます！



公益社団法人陸前高田市シルバー人材センター

## 目 次

### 序章 計画の基本的構想

- 1 計画策定の趣旨…………… 1
- 2 計画推進の概念…………… 1
- 3 将来像…………… 1

### 第1章 計画の基本事項

- 1 計画の目的…………… 1
- 2 計画の構成…………… 1
- 3 計画の期間…………… 2

### 第2章 基本計画

- 1 できる事…………… 2
- 2 やりたい事…………… 2
- 3 やるべき事…………… 2

### 第3章 現状の課題・実施計画・達成目標形式

- 1-(1) 組織体制の適正化…………… 2・3
- 1-(2) 会員の拡大…………… 3・4
- 1-(4) 安全・適正就業の推進…………… 5
- 2-(1) 魅力あるセンターづくり…………… 5
- 2-(2) ボランティア活動の推進…………… 6
- 2-(3) 独事業の充実…………… 6
- 3-(1) 地域社会や行政との連携…………… 6
- 3-(2) 就業機会の拡大…………… 7
- 3-(3) 地域課題解決事業の推進…………… 7

### 第4章 達成目標

- 1 各種指数…………… 8
- 2 対前年度件数の増減…………… 8
- 3 数値目標…………… 8
- 4 年次目標…………… 8

### 資料

- センター概要…………… 9・10

### 策定に当たって

- 1 あとがき…………… 11
- 2 策定に係る考え方の要素…………… 11
- 3 策定体制…………… 11
- 4 中・長期計画策定委員会委員…………… 11

## 序章 計画の基本的構想

### 1 計画策定の趣旨

シルバー人材センター事業は、これまでの高齢者の生きがいづくりに加えて、深刻な人手不足問題を背景に、法律改正による労働者派遣事業、有料職業紹介事業、業務拡大への取り組みや現役世代のサポート事業など多様な就業形態への対応とその業務の拡大が求められています。また、当市においては、人口減少に起因する地域課題への対応など、果たさなければならない役割は増加し重要性が高まっています。

当センターでは、これまでの10か年の事業運営の方向性を明らかにしてきた中・長期計画が令和元年度で終了することから、今後歩むべき道筋を示すために、現状の課題を解決し、より多くの元気な高齢者がセンターに集い、法令に定める事業と公益法人としての使命を達成するために、本計画を策定して事業を推進していくものです。

### 2 計画推進の概念

シルバー人材センター事業の基本理念「自主・自立・共働・共助」のもとに、地域の高齢者が知恵、技能、技術、経験を活かして事業に参画し、互いに喜びを分かち合いながら、活力ある地域社会づくりに寄与していくため、本計画の推進を図って参ります。

### 3 将来像

定款に規定する事業目的を達成するため、次の3つの事柄が成し遂げられることを将来のあるべき姿として掲げます。

3つの事柄	内 容
できる事	高齢者ができることを活かせるセンター
やりたい事	高齢者にとってやりたいことが叶うセンター
やるべき事	地域においてやるべきことが実行できるセンター

## 第1章 計画の基本事項

### 1 計画の目的

この計画は、基本構想を実現するための方策について、陸前高田市まちづくり総合計画等に弾力的に対応するものとし、この計画を基礎として見直していくものとしします。

### 2 計画の構成

構成項目	説 明
基本計画	基本理念のもとに将来像を達成するための基本となる計画です。
現状の課題	実施計画に反映させるため現状の課題を項目ごとに整理したものです。
実施計画	諸課題を解決するための毎年度の事業実施計画のもとになる計画です。
達成目標	数値あるいはアンケート調査等による計画の達成度をはかるための目標です。



### 3 計画の期間

この計画は、令和2年度を初年度とし、令和11年度（西暦2029年度）を目標年次とする10か年計画とします。また、達成目標計画期間を5年ごとに前期、後期の2つの期間に区分し、各期ごとに達成目標を定めます。

#### 第2章 基本計画

将来像	基本計画	内容
1 できる事	(1) 組織体制の適正化	組織の見直しを行って役割を明確化し、ワンチームの精神による会員参画の事業を展開します。
	(2) 会員の拡大	事業主体となる会員の拡大について、組織を挙げて取り組みます。
	(3) 安全・適正就業の推進	就業における最優先取組事項として、法令を順守し無事故・無災害を目指します。
2 やりたい事	(1) 魅力あるセンターづくり	高齢者の皆さんが一人でも多く事業に参加できるように、多様な魅力があるセンターづくりを進めます。
	(2) ボランティア活動の推進	地域社会における共助の一環としてボランティア活動を推進します。
	(3) 独自事業の充実	個々の会員が持つ能力を活用した各種独自事業の開発に取り組みます。
3 やるべき事	(1) 地域社会との連携	市民の皆様の声を大切にしながら関係機関と連携し、地域に根差した事業を展開します。
	(2) 就業機会の拡大	慢性的な労働力不足が続く中、役割を的確に捉えて就業機会の拡大に努めます。
	(3) 地域課題解決事業の推進	少子高齢化と人口減少がもたらす様々な諸課題を踏まえ、解決に必要な事業を立ち上げて推進します。

#### 第3章 現状の課題・実施計画・達成目標形式

##### 1-(1) 組織体制の適正化

現状の課題	
震災復興により就業ニーズへの対応に終始してきた結果、原点である会員による運営が疎かになり組織力が低下する傾向にあります。このことから原点である会員運営に回帰し、円滑かつ安定的な事業運営を行っていくために、組織体制の適正化を推進します。	
実施計画	
①組織運営 ア 理事の職務の適正化 イ 理事会の役割の適正化と活性化 ウ 役員・会員の研修会、勉強会の充実 エ 地域班、専門会部、委員会の再編と活性化 オ 就業グループの再編と就業体制の円滑化 カ 会員の事業参画システムの構築(各組織からの提言) キ P D C A サイクル活用による体制強化 ク ボトムアップによる組織運営の推進 ケ 業務の最適化 コ 組織的取組の浸透 サ 指導的立場の会員に対する研修の充実	シ 先進地シルバー人材センター視察研修の実施 ス 全会員相互の事業参加と協力の推進 セ 会員の意識改革 ソ 会員と理事との意見交換会の開催 タ 理事会や部会、委員会メンバーのイベント参加と普及啓発活動 チ 理事会や部会、委員会メンバーへの情報提供と研修等の実施 ツ 理事、地域班役員の入会説明会への参加 テ 会員参加型の理事会、部会、委員会設置 ト 中・長期計画策定と周知による目標・意識の共有 ナ 会報発行や懇談会等での事業取組方針等の共有 ニ 会員活用の推進(広報や受注活動、就業相談、事務処理、イベント、ボランティア)

<ul style="list-style-type: none"> <li>ヌ 有効なアンケート方法の確立.</li> <li>ネ 各種行事の周知方法改善</li> <li>ノ アイディア募集の推進</li> <li>②業務運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 市との連携・協力</li> <li>イ 市の会議への参加</li> <li>ウ 会員と職員の業務分担徹底</li> <li>エ 見積り、手配、報告に係る経費の見直し</li> <li>オ リーダー会員の育成</li> <li>カ 発注者対応の円滑化のための会員接遇研修実施</li> </ul> </li> <li>③長期的健全運営の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 財政計画の樹立</li> <li>イ 組織活動費の公平、明瞭化</li> <li>ウ 配分金支払準備金の確保</li> <li>エ 予算の計画的な執行</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハ シルバーだよりの誌面づくりの工夫と有効活用</li> <li>ヒ 就業グループ単位の意見聴取</li> <li>④事務局運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 事務所の雰囲気づくり</li> <li>イ 事務局体制の見直し</li> <li>ウ 職員の意識改革(タイムリーな事務処理)</li> <li>エ 事業理解の向上</li> <li>オ 企画力の強化</li> <li>カ 職員に対する研修の充実</li> <li>キ 事務の合理化</li> <li>ク 事務量の適正化</li> <li>ケ 職員に対する目標値の意識付け</li> <li>コ 目標達成状況の確認と講評の実施</li> <li>サ 育成システム構築(昇任試験、資格取得)</li> <li>シ 職員による営業の強化</li> <li>ス 理事会説明の改善</li> </ul> </li> </ul>
達成目標形式	
ア 会員の達成度指数    イ 役員の所見指数	

1-(2) 会員の拡大

現状の課題	
地域における役割を果たすことと生涯現役を推進するために、全国で取り組んでいる「第2次会員100万人達成計画」に連動し、会員拡大を図っていくものです。	
実施計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 会員の事業理念の理解と実行</li> <li>イ 女性会員の拡大</li> <li>ウ 企業退職者の取り込み</li> <li>エ 60歳代会員の確保</li> <li>オ 退会者の抑制(ボランティア活動やサークル活動への参加働きかけ、負担の掛からない職種や就業以外や活動への誘導など)</li> <li>カ 各種広告及びチラシ・パンフレット配布(回覧板、直接戸別配付、新聞折り込み、店頭配布、公共施設配置、民間施設配置)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キ 会員拡大に特化した女性委員会の時限的設置</li> <li>ク イベント活用(チラシ・販促品配付、相談コーナー設置、法被着用、のぼり旗掲示、活動状況写真展示紹介、物販)</li> <li>ケ 全員参加型のシルバーフェア開催</li> <li>コ ホームページ活用(広報・お知らせ、ホームページ写真・動画紹介、SNS発信、自治体等リンク、他機関ホームページに紹介)</li> <li>サ ハローワークとの連携(チラシ配置、相談会ブース設置、求職者セミナー時事業概要説明)</li> </ul>



<p>シ マスメディア活用(情報誌、新聞、テレビ、ラジオ情報提供及び広告)</p> <p>ス 広告掲載(公共施設、バス、シルバー車両、就業中に看板)</p> <p>セ 街頭宣伝</p> <p>ソ 広報紙工夫(就業風景掲載、就業情報掲載、女性会員に特化した広報、派遣事業の周知、会員や発注者の声掲載、読んでもらえる工夫)</p> <p>タ 会員によるチラシ、パンフレット配布(就業時ポスティング、定例会時に配付)</p> <p>チ 会員への協力依頼(配分金明細書記載または依頼書同封、サークルを介しての勧誘、会員自宅をシルバー人材センター連絡所に、勧誘キャンペーン実施、紹介カード作成、表彰制度、報奨制度、ポイント制度)</p> <p>ツ 事業活動時の広報(統一した帽子やジャンパーによるアピール、ノベルティグッズ活用、入会を条件とした技能講習会開催)</p> <p>テ 会員以外の方の巻き込み(ボランティア、懇親会、旅行、サークル活動、スポーツ大会、女性の集い、各種講習・研修会、終活セミナーなどへの参加)</p> <p>ト 多様な働き方周知による勧誘(請負、委任、派遣、職業紹介、独自事業の周知と理解、就業情報提供)</p> <p>ナ 会員活動による勧誘(芸能大会、作品展示会などシルバー芸術鑑賞会への集客)</p> <p>ニ 入会説明会の改善(内容の見直しとあり方の工夫、回数：休日、夜間、1日に複数回、随時、イベント時、会員募集広告時に併せて・時間短縮、開催場所を事務所以外の相手方利便性に併せる、会員の少ない地域で開催、ハローワークで開催、焦点を絞って開催(女性限定など)、職種を絞って開催(就業会員不足職種希望者など)、地域を絞って開催(就業先に近い地域など)</p>	<p>ヌ 集客工夫(一般向け講習やセミナーと併催、説明会前に再度参加の電話確認、インターネットによる入会受付)</p> <p>ネ 説明内容の工夫(個々の入会目的が達成されることを強調、説明会前の待ち時間に就業風景、サークル活動、懇親会などの楽しいことが待っているイメージのビデオ放映など)</p> <p>ノ 説明会方法の工夫(ビデオ、パワーポイント、プロジェクターの活用で解りやすく飽きさせない、地域班長、各種リーダーからの体験談を聞いてもらう、就業情報の提供と聞取りマッチングなど)</p> <p>ハ フォローの工夫(不参加者や未入会者への連絡)</p> <p>ヒ 詳細は就業前の必要事項説明会で説明(入会説明会は入会を促進する内容に特化する)</p> <p>フ 再入会の促進(電話による状況確認)</p> <p>ヘ 発注者を会員に勧誘</p> <p>ホ 事務局の姿勢強化と創意工夫</p> <p>マ 理事長や理事の関与</p> <p>ミ 会員の協力</p> <p>ム 市やハローワークとの協力の強化</p>
達成目標形式	
ア 数値目標	

1-(3) 安全・適正就業の推進

現状の課題	
国の労働政策、高齢者の体力年齢の向上、生涯現役促進の観点から会員年齢が上がるのが想定されます。このことからこれまでの対策を再点検し、見直しを図って無事故・無災害を目指します。	
実施計画	
①安全就業 ア 安全管理体制の適正化(就業現場安全担当者の配置と報告など) イ 安全教育の充実 ウ 意識啓発の徹底 エ 事故防止措置の充実 オ 健康管理の推進(会員の健康診断受診の義務化と健康管理の推進) カ 安全就業基準の順守 キ 高齢者運転等に係るガイドラインの順守	② 適正就業 ア 適正就業に関する法令の理解 イ 就業形態の理解 ウ 適正就業基準の順守 エ 会員の就業適性の把握と適材適所の就業提供 オ 就業提供方法の適正化 カ 会員に対する既存、新規就業情報公開と周知徹底 キ ローテーション就業、ワークシェアリングの推進 ク 就業に関する適正な事務の徹底
達成目標形式	
ア 会員の達成度指数    イ 事故件数の増減数    ウ 発注者の満足度指数	

2-(1) 魅力あるセンターづくり

現状の課題	
生涯現役促進と会員拡大を推進するため、誰からも魅力があるセンターづくりが求められます。これまでの取り組みに加え新たな時代に合致した事業を取り入れて、センターの魅力を発信していきます。	
実施計画	
ア 会員ニーズにあった就業先開拓(訪問開拓、未・低就業会員希望ニーズ開拓、会員ニーズ調査に基づいた開拓、提案型営業、女性委員会による開拓策樹立、女性をターゲットにした開拓(販売員など)、専門員設置、会員資格・経験に基づく開拓) イ 講習会・フォーラムや独自事業の実施(会員ニーズ調査に基づいた講習、会員知識・経験を生かした独自事業の開発、後継者育成を念頭に入れた講習会、一般参加も可能な講習会の企画実施(セカンドライフセミナー、マネープラン講演会、終活セミナー)、女性をターゲットにした企画実施、カルチャー講座)	ウ 仲間づくり・生きがいくりの取り組み(全体あるいは各組織におけるボランティア活動、趣味活動や講座開催、交流会、親睦会、親睦旅行) エ センターのイメージ向上・転換(アンテナショップや交流サロン運営、地域課題解決事業の取組、イベント参加、事業周知・広報紙、ホームページ(事業紹介などによる)によるセンターイメージの向上または誌面、ページの一新、事業所レイアウトの一新、事務局職員対応の向上による会員満足度アップ、配分金の見直しによるイメージ向上)
達成目標形式	
ア 会員の達成度指数    イ 市民の達成度指数	

2-(2) ボランティア活動の推進

現状の課題	
人口減少による環境美化の補完を新たなボランティアの目的として捉え、各種関連団体と連携して役割を果たしていきます。	
実施計画	
ア 地域社会における共助の一環としてボランティア活動の充実と推進 イ 各組織におけるボランティア活動の推進	ウ ボランティア活動内容の多様化(場所の選定含む)
達成目標形式	
ア 会員の達成度指数    イ 市民の達成度指数	

2-(3) 独自事業の充実

現状の課題	
会員の能力を活用し、年齢に応じた多様な働き方を創設するため独自事業の開発を進めます。	
実施計画	
ア これまでの事業の継承 イ 独自事業実施制度の創設 ウ 新規独自事業の開発	エ 本計画各項目との連動 オ 既存事業の見直しと有効活用
達成目標形式	
ア 会員の達成度指数    イ 市民の達成度指数	

3-(1) 地域社会や行政との連携

現状の課題	
地域の一員として必要な事業展開を図るため、地域社会や行政との連携を強化していきます。	
実施計画	
ア 地域社会からの信頼確保(意義仕組みを正しく浸透、仕事完成後のフォロー 一、派遣先への定期的訪問聞き取り) イ 地域ニーズの把握	ウ クリアな情報開示 エ 理事会、委員会、部会の市長との懇談会開催
達成目標形式	
ア 会員の達成度指数    イ 市民の浸透度指数	



3-(2) 就業機会の拡大

現状の課題	
<p>少子高齢化の進展により、高齢者の活躍による地域社会の活性化がますます求められます。このことから、地域事情の分析と受注体制のデータ化を図り、的確に需要に対応していきます。</p>	
実施計画	
<p>ア 既存事業の充実(請負・委任、派遣、職業紹介、訪問介護・福祉家事援助サービス事業、子育て支援事業、独自事業)</p> <p>イ 就業開拓委員会設置の検討</p> <p>ウ 就業開拓の方策の実行：企業訪問の充実(市内企業全部訪問等)、ワンコインサービスからの繋ぎ事業、有用に利用して頂くためのワンコインサービス事業の見直し、市内産業界との懇談会開催、会報・ホームページでの仕事出来栄えと発注者の声を紹介、就業開拓専門員の配置検討(3月、8月、10月)、就業に結び付く技能講習の実施、会員活用による技能講習会開催(清掃など)、スキルアップのための技能講習会開催、会員職種データ化とセールス、各種広告、外部委員の取り入れまたは懇談会、みんなで開拓みんなで就業の推進、販促用品の活用、時期的ピンポイントチラシの配布(お墓掃除、大掃除、年賀状宛名書き、繁忙期除草、農林水産業繁忙期、卒業証書筆耕など・併せてその仕事の会員募集)、民生委員への広報、アフターサービスの推進(完成後のフォロー専門員の対応→リピーターに繋げる)、満足度調査実施による</p>	<p>改善、事務系職種会員の開拓、買い物弱者支援事業検討、女性の役員登用推進と女性部会設置及び女性向け仕事開発開拓、戦略目標計画の策定、打って出る営業で各種団体業回り、「こんな仕事できます」提案型営業、人手不足マップの作成、必要に応じてニーズ調査実施、キャリア・ナウ就業部門設置、地元企業協力会結成検討、未登録者の希望職種把握と開拓、他拠点協力による委託販売</p> <p>エ 就業ミスマッチの解消(登録時の就業先決定、未就業・低就業会員に対する定期相談、集合相談実施、会員ができるだけセンターに足を運ぶ方策樹立、ワークシェアリングの徹底、グループ就業の徹底、就業率改善のための1人1グループ制導入検討、会員満足度調査の実施と活用、トライアル就業実施検討、就業体験、講習会への参加呼掛け、グループによる新規会員の育成)、未充足事例の収集と分析</p> <p>オ 業務拡大の認可</p>
達成目標形式	
<p>ア 数値目標    イ 会員の達成度指数    ウ 市民の浸透度指数</p>	

3-(3) 地域課題解決事業の推進

現状の課題	
<p>人口減少に起因する課題は今後顕著になると推測されます。安心して暮らせる地域社会づくりのために、事業を検討、検証する部署を設置し地域の課題に対応していきます。</p>	
実施計画	
<p>ア 既存事業の充実(訪問介護事業、福祉・家事援助サービス、ワンコインサービス、空き家等現状確認サービス)</p> <p>イ 学童保育補助業務への対応</p>	<p>ウ 新規事業の検討会を定期開催</p> <p>エ 安全で質の良いサービスの提供</p>
達成目標形式	
<p>ア 会員の達成度指数    イ 市民の達成度指数</p>	

## 第4章 達成目標

達成目標は、形式ごとに次のとおりとします。

### 1 各種指数

計画の期間の前期、後期の各期の終了した時点においてアンケート調査を行って成果をはかるものとし、前期においては50ポイントを後期においては100ポイントを達成目標とします。

### 2 対前年度件数の増減

計画の期間の前期、後期の各期の終了した時点において各年度の増減差を集計し、目標内容に向かってプラスの場合には達成、マイナスの場合には未達成とします。

### 3 数値目標

項目 / 年次	令和元年度	前 期				後 期			
		令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)				令和7年度(2025年度)～令和11年度(2029年度)			
1 仕事、職種の開拓、拡大									
(1) 請負契約金額(千円)	114,230	←	147,275	→	←	169,902	→		
(2) 派遣契約金額(千円)	17,572	←	22,656	→	←	31,680	→		
(3) 常用就職件数(件)	19	←	25	→	←	30	→		
(4) 就業率(%)	87.6	←	100.0	→	←	100.0	→		
2 会員の拡大									
(1) 登録正会員数(人)	270	←	350	→	←	400	→		
(2) 対会員対象年齢人口入会率(%)		←	4.5	→	←	5.3	→		
(3) 男女別登録会員比率(男:女%)		←	50:50	→	←	50:50	→		

### 4 年次目標

項目 / 年次	令和元年度	前 期				後 期			
		令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)				令和7年度(2025年度)～令和11年度(2029年度)			
1 事業関係									
ファミリーサポート事業	調査検討開始	準備	事業開始						
学童保育対応事業	調査検討開始	準備	事業開始						
漬物工房の開設	調査検討開始	準備	事業開始						
2 財政関係事項									
(1) 各種リース満了時期		カラー複合機	エンジン×5台	スズキ軽トラック	ほのぼのシルバー	カラー複合機	エンジン×5台	スズキ軽トラック	ほのぼのシルバー
(2) 車両廃車、リース契約に切替			スズキキャリア グインツハベツ	ニッサンオットイ トヨタハイエース			スズキキャリア グインツハベツ	ニッサンオットイ トヨタハイエース	

公益社団法人陸前高田市シルバー人材センター概要

- 1 名 称 公益社団法人陸前高田市シルバー人材センター
- 2 所在地 〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字中田6番地1  
陸前高田市シルバーワークプラザ内  
TEL 0192-54-4888 FAX 0192-54-4889  
E-Mail rikutaka@sjc.ne.jp  
URL <http://www.sjc.ne.jp/rikutaka/>  
Facebookpage <https://www.facebook.com/rikutakasjc/>
- 3 代表者 理事長 菅野速男
- 4 設立(法人許可日) 平成5年6月29日(平成23年12月1日公益社団法人移行)
- 5 国庫補助金交付開始 平成5年6月
- 6 陸前高田市の概要(令和2年3月31日現在)
- (1) 人口 18,766人
- (2) 面積 232.19km<sup>2</sup>
- (3) 高齢者人口 8,751人(60歳以上)
- (4) 高齢者率 46.6%(60歳以上)
- (5) 粗入会率  $260人(会費) \div 8,751人(60歳以上の人口) = 2.97\%$
- 7 役員 理事13人・監事2人
- 8 事務局 常務理事兼事務局長1人・事務局次長1人・業務係長兼訪問介護事業所管理者1人、業務主任1人、嘱託職員6人(業務担当2人、経理会計担当1人、企画総務担当1人、訪問介護事業所サービス提供責任者2人)(男2人・女8人・計10人)
- 9 組織
- (1) 地域班 9班(矢作班・横田班・竹駒班・気仙班・高田1班・高田2班・米崎班・小友班・広田班)
- (2) 安全・適正就業委員会 構成:委員7人(理事3人・会員3人・安全・適正就業推進員1人) 地区安全・適正就業対策員9人
- (3) 専門部会 総務部会・就業部会・広報部会(3部会)  
※専門部会は担当理事2~4人・地域班選出委員8~9人で構成

- (4) 就業グループ 45グループ(職種・職域ごとのグループ)
- (5) サークル はた織り13人(H18.4.7結成)  
手芸8人(H19.2.17結成)  
民謡14人(H20.10.21結成)  
お菓子づくり5人(H30.11.26結成)  
陶芸7人(R2.3.4結成)

10 組織運営及び活動状況

- (1) 総会 定時総会年1回開催(開催時期毎年5月)
- (2) 理事会 年5回開催
- (3) 地域役員連絡会議 年2回開催
- (4) 地域班 班会議、奉仕活動の実施、懇親会・研修旅行の実施等
- (5) 安全・適正就業委員会 講習会等開催(大会年1回・安全就業年3回・交通安全年1回・健康管理年1回)・安全パトロールの実施・標語コンクール・その他安全啓発活動
- (6) 専門部会
- ア 総務部会 総会運営・入会促進・各種班会議出席・イベントの企画及び参加
- イ 就業部会 独自事業・就業開拓及び技能講習(後継者育成、確保)の企画、立案、実施
- ウ 広報部会 広報誌、チラシ編集、発行等の広報活動・ホームページの更新・行政、マスコミへの情報提供(記事、写真)
- (7) 就業グループ 就業に必要とする講習会、懇親会の開催
- (8) サークル 定期的な自主活動と独自事業への参画

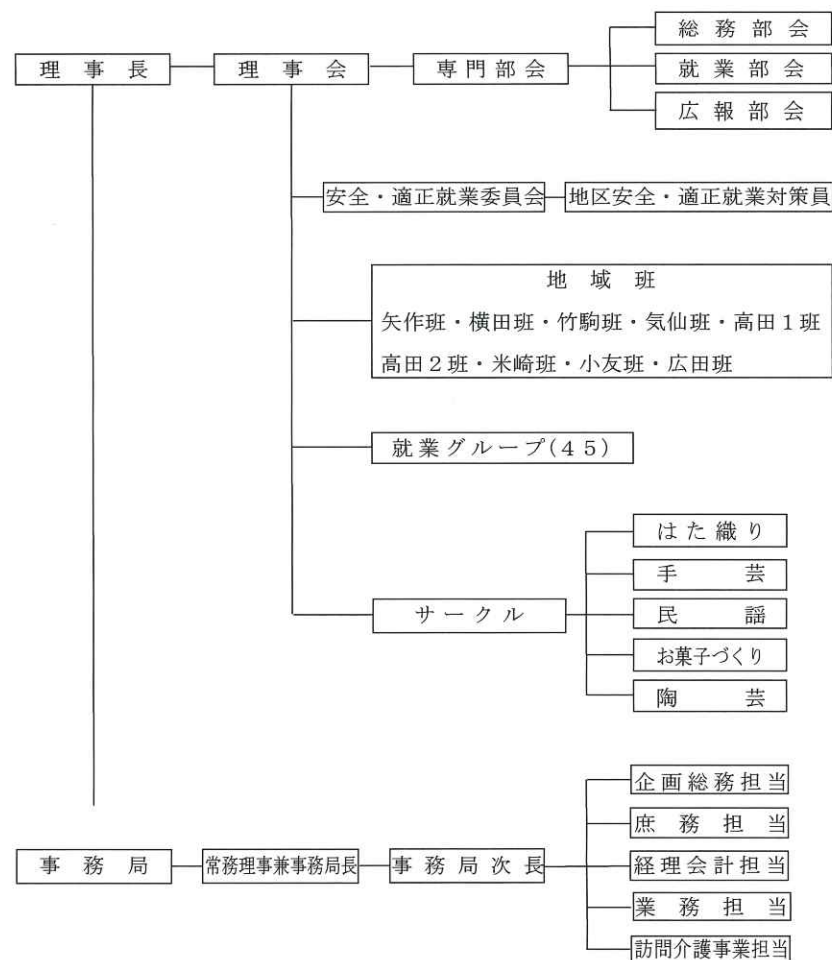
11 事業運営

- (1) 補助ランク 国庫補助Bランク
- (2) 会費 年額3,000円
- (3) 配分金 月末締め翌月15日払い
- (4) 事務費 受注額の10%
- (5) 派遣手数料 賃金の22%~25%(消費税別途)(内訳:拠点10%、連合会派遣手数料12%~15%)



- (6) 有料職業紹介事業手数料
- ・求人受付手数料(求人の申し込みを受理した場合)1件690円
  - ・紹介手数料(上限制手数料)支払われた賃金額の10.8%(求人者又は関係雇用主から徴収)
- (7) 独自事業 ・各種教室(民謡教室)
- 菓子工房事業(手づくりお菓子)
  - 竹製品事業(ミニ門松づくり)
  - ふれあい工房事業(各種木工製品製作/はた織り:さき織り等/手芸:各種手芸品)
  - 農産物生産事業(シルバー農園:カボチャ、ヤーコン栽培/会員農生産産物販売)
  - グリーンリサイクル事業(堆肥づくり)
- ・販売方法: イベント出店・注文販売など
- (8) 事務所 陸前高田市シルバーワークプラザ(延床面積238.88㎡)
- 事務室66.25㎡ 訪問介護事業所事務室19.87㎡
  - 介護相談室19.87㎡ 研修室49.69㎡
  - 和室作業室19.88㎡ 菓子工房20.29㎡
  - 倉庫18.22㎡ その他トイレ等24.81㎡
- (9) 作業所 ふれあい工房(延床面積1階107.64㎡・2階1階107.64㎡)
- 1階【木工】自動カンナ、超仕上カンナ、バンドソー、小型角ノミ、卓上ボール盤、糸ノコ盤、卓上丸ノコ、電気ドリル 各1台・グラインダー、卓上木工旋盤 各2台
  - 2階【機織】織機5台、整経台2台、千巻及び緋用具1式
- (10) 事務機器 コピー複合機(FAX兼用)1台・印刷機1台・パソコン4台  
プリンター4台・SC事業用パソコンエイジレス5台  
介護事業用パソコン3台、シュレッダー1台
- (11) 車両 軽トラック2台(うち1台リース)・軽ワゴン1台・ライトバンロング1台・軽自動車1台
- (12) 就業什器備品 芝刈機・自走式粉碎機・自走式カッター・クローラー運搬機

12 組織構成図



## 策定に当たって

### 1 あとがき

日本は今、超高齢社会に入り、現役世代が高齢者を支えるこれまでと同じ仕組みのままでは、社会全体が成り立たなくなると言われております。このことから、国の「働き方改革」における労働者不足解消策の一つとして、「労働市場に参加していない女性や高齢者の働き手を増やす」ことが掲げられ、「生涯現役社会づくり」の観点からシルバー人材センター事業に多くの期待が寄せられているところです。また、生涯現役にあつては、これまでのように一部の高齢者による慣行ではなく、高齢者全体の総合力によって進めなければ、国家財政が破綻するという大きな不安を次世代に負わせることになるとも言われております。委員会では、これらのことを重く受け止め、これまでの第二次中・長期計画の達成状況を点検し、現状の課題把握、会員の皆さんや地域の様々な方々からのご提言をまとめ、新たな中・長期計画案を策定して参りました。策定に当たっては、本市の全ての高齢者の方々が生涯に渡って本事業の活動を共にして、地域が持続して明るく活力ある社会になることを切に願って組み立てたものです。

### 2 策定に係る考え方の要素

計画策定に当たっては、事業の公益性を重んじ、次に掲げる事項を策定に係る基本要素としました。

#### (1) 現状把握

事業に必要なとする基本的な要素の項目を定め、設立からこれまでの事業状況を分析し、諸課題等を分類しながら現状を把握しました。

#### (2) 課題、意見、要望等の集約

区 分	内 容
市民	直近3年間に実施した市民または市民を含むアンケート調査結果を集約し計画に反映しました。また、ホームページ、SNSに課題、意見、要望等を頂く窓口を開設しました。
地区コミュニティ推進協議会長	アンケートにて課題、意見、要望等の提言を頂きました。
行政	各課等より、アンケートにて課題、意見、要望等の提言を頂きました。
事業所	現在取引している事業所より、アンケートにて課題、意見、要望等の提言を頂きました。
会員	全会員にアンケートを実施し、課題、意見、要望等を把握をしました。
内部組織	これまでの事業状況を踏まえ、理事会(監事含む)、各委員会、専門部会ごとに、課題、意見、要望等を集約しました。
事務局	職員個々に、課題、意見、要望等の提出を求めました。

### 3 策定体制

区 分	内 容
総会	会員全体の意思決定機関、かつ当センターの最高の意思決定機関として、提案された内容を審議して議決します。
理事会	法人の業務執行の決定を担う役割として、中・長期計画策定委員会に対して計画策定に必要な意見を述べるとともに、委員会が策定した計画案を総会に付議すべき事項として審議しました。
中・長期計画策定委員会	中・長期計画策定委員会設置要綱に基づき、計画策定に関して必要な事項を協議し、所要の調整及び推進を図りました。
事務局	中・長期計画策定委員会及び理事会に連動し、計画策定に係る事務処理を行いました。

### 4 中・長期計画策定委員会委員

委員長：佐々木公一(副理事長) 副委員長：村上温代(理事・総務部会副部長) 委員：熊谷賢一(安全・適正就業委員会委員長) 菅野弘利(理事・就業部会部長) 熊谷省二(理事・広報部会部長) 佐々木正博(常務理事兼事務局長) 以上6名